

3	一七	漢字を正しく読む	事業を <u>営む</u>	56.2	38.8	-17.4
	三1	ことばの基本形がわかる。	私としては、どうしても、 <u>にくまれ</u> 続けることにたえられなかったのです。	40.5	44.6	- 4.1
4	一1	語句の辞書の意味がわかる。	単調な生活が続く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア つらくてしかもさびしい。</li> <li>イ きまりきっていて変化のない。</li> <li>ウ たのしい調子の</li> <li>エ 自分だけの考えの</li> </ul>	65.2	59.2	- 6.0
	4		病院特有の薬品の <u>におい</u> がする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア ふだんとちがってとくべつ</li> <li>イ 他にくらべてとくにすぐれた</li> <li>ウ そのものだけにあるとくべつの</li> <li>エ とくに目立ったしるしの</li> </ul>	65.6	62.1	- 3.5
	二1	反対語がわかる	反対の意味の <u>前進</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>（失敗 後退 特別</li> <li>簡単 常識 物質 複雑</li> </ul>	95.9	92.1	- 3.8
	三2	同類語・同義語がわかる	<u>日常</u> （貧苦 著名 平素 将来 指針 方角 から選ぶ）	69.5	64.5	- 5.0
	四1	慣用句がわかる	あいづちが <u>打つ</u>	62.5	58.7	- 3.8
	4		耳に <u>たこ</u> ができる	84.5	83.5	- 1.0
	五2	文脈の中で語句の意味をつかむ	おをひく <ul style="list-style-type: none"> <li>（2つ選ぶ）</li> <li>事実におを引いて 長く長くおを引いて</li> <li>ねがおを引いて あのとときのきずが</li> <li>おを引いて</li> </ul>	29.0	26.2	- 2.8
	六2(1)	語句の構成がわかる	次の語句の説明にあてはまる熟語を、あとから二つ選ぶ。 一方が他方を修しよくしているもの（高山 白線）	75.6	66.9	- 8.7
5	一3	文章の中で語句を正しく使う	きみのすばらしい活やくを（招待する 計画する 健とうする 期待する）	84.3	80.0	- 4.3
	三1	文章の中で敬語を正しく使う	よいと思うものに○ 母はいま外出していて家には <ul style="list-style-type: none"> <li>おりません</li> <li>いらっしゃいません</li> <li>おいでになりません</li> </ul>	83.0	81.1	- 1.9
6	一1	指示語・接続語を正しく使う	文中の□の中に、次のどのことばを入れたらよいですか。 そこで、そうして、 <u>しかし</u>	69.9	64.0	- 5.9
	①		77.3	65.3	-12.0	
	4	そういう事実とは、次のどれですか。 ア つばめがすがたを消すこと イ つばめがいなくなったと気づくこと ウ つばめがほらあなで冬をこすこと エ 地方の老人に注意して聞くこと	71.5	68.1	- 3.5	
六2	内容にあった文体を使って書きわける	先生への手紙文を読んで答える。 □に入れて前の文に続ける。 アンモニアの検査のしかたについて 手紙で□い□。  <ul style="list-style-type: none"> <li>教えてくださいにのみます。</li> <li>教えてくださいにお願いします。</li> <li>教えてくださいお願いします。</li> <li>教えていただかなければならないと思います。</li> </ul>	83.0	74.2	- 8.8	